

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校英語活動推進事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	01	04	02	56
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小学校全児童	意図	英語教育の推進を図り、子どもたちに英語を通じてコミュニケーション能力の基礎を身につけさせる。
事業内容	英語が堪能な日本人の小学校英語活動指導員を各小学校に1名ずつ配置し、5・6年生の外国語の授業を進める上での準備段階から授業の実施まで学級担任の補助を行う。英語を主言語とする外国語指導助手（ALT）を8名雇用する。一人あたり2校を担当し、外国語及び外国語活動の指導補助にあたる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成16年度から英語活動指導員の配置を開始し、平成18年度からは市内全小学校への配置が実現している。ALTは平成20年度に初めて1名を採用し、22年度に2名、23年度に3名、27年度に4名、28年度に6名となり、30年度からは8名に増員した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	英語活動指導員一人あたりの指導時間の合計	4,461	4,709	9,143	時間	↑↑↑	全指導時間数の合計
②	小学校ALT指導日数	221	211	214	日	↑↑↑	一人あたりの年間平均指導日数
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	ALTや英語活動指導員を配置することで、児童が英語を身近に感じるようになり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は小学校3、4年生において外国語活動を週1時間（年間35時間）、5、6年生においては教科としての外国語を週2時間（年間70時間）実施した。 新学習指導要領を先行実施にともない、英語活動指導員の指導時間数を増加した。			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	34,413,882	34,226,341	46,742,011				
事業費(b)(円)	29,882,982	29,796,421	42,391,291				
うち一般財源	29,882,982	29,796,421	42,391,291				
職員給与と費(c)(円)	4,530,900	4,429,920	4,350,720				
人役・職員(人)	0.66	0.66	0.66				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	外国語の教科化に伴い、英語を主言語とする外国語指導助手（ALT）及び英語活動指導員の指導を充実させる必要がある。	③取組における課題(Check)	小学校の外国語教科化及び学習指導要領の改訂に向けた研修を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	小学校ALT研修会を複数回実施し、外国語活動の指導法について研修を深めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	年3回実施している外国語活動担当者及び英語活動指導員研修会の内容を充実させる。